

## 京成電鉄株式会社に対するシンジケーション方式での 「ソーシャルローン」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、京成電鉄株式会社（代表取締役社長：小林 敏也、以下「京成電鉄」）との間でシンジケーション方式によるソーシャルローン（以下「本ローン」）のアレンジャーに就任し、融資契約を本日締結しました。

ソーシャルローンとは、その調達資金を「社会的課題を解決する事業」に充当することを目的としたローンです。京成電鉄は、ソーシャルローン原則（※1）等に基づき2022年9月に「サステナブルファイナンス・フレームワーク」（以下「本フレームワーク」）を策定しており、本ローンは本フレームワークに基づくソーシャルローンです。

本フレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（以下「R&I」）より、ソーシャルローン原則等に適合していることについてセカンドオピニオン（※2）を取得しています。

京成電鉄は、2030年グループビジョンとして、「京成グループの事業エリアのみなさまとの共創、及び、日本の玄関口、成田空港の機能強化への寄与を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献する」を掲げ、お客さまや社会に貢献することを通じ、持続的成長の実現を目指しています。

みずほ銀行は、京成電鉄の社会的課題解決への取り組みに賛同し、本ローンのアレンジャーに就任することで、参加金融機関とともに本取り組みを支援していきます。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

## <本契約の概要>

借 入 人: 京成電鉄株式会社  
ア レ ン ジ ャ ー: 株式会社みずほ銀行  
貸 付 人: 国内金融機関 18 社  
組 成 金 額: 100 億円  
契 約 締 結 日: 2023 年 6 月 22 日  
実 行 日: 2023 年 6 月 26 日

## <資金使途（ソーシャルプロジェクト）の概要>

京成電鉄は本件により調達した資金の全額を、以下のプロジェクトに充当予定です。

### ①駅舎リニューアル

駅の利便性・安全性の向上のため、  
駅舎リニューアル工事を推進しています。  
駅は地域の特性を生かしたデザインとし、  
駅照明のLED化にも取り組んで  
おります。



▲千葉中央駅



▲京成大久保駅

### ②駅舎耐震補強

大規模地震への対策として、市川真間駅等の駅舎や、  
ホーム上家の耐震補強工事を実施し、地震に対する  
安全性の向上に努めております。



▲耐震補強工事イメージ  
(東中山駅)

### ③列車無線デジタルSR化

列車無線（※3）について、従前はアナログ方式（誘導無線式）  
を使用しておりましたが、デジタル方式の列車無線へ完全移行  
を行ったことで、より高品質な通話と文字情報での情報伝達が  
可能となりました。異常時対応等のさらなる迅速化を  
図ります。



▲車上設備 アンテナ



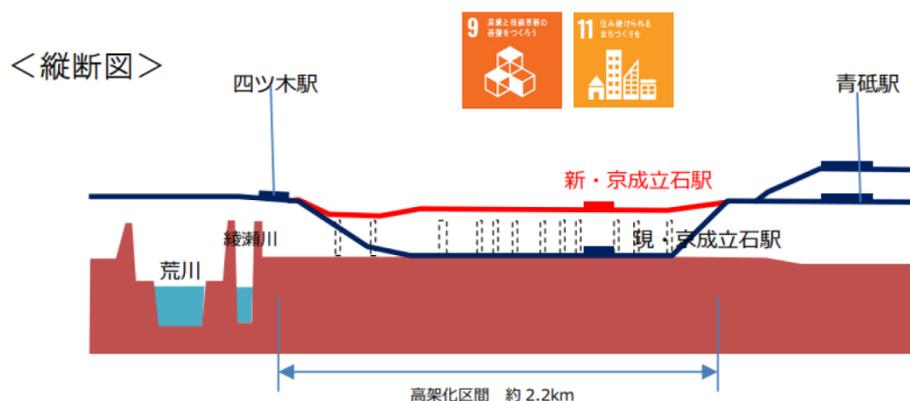
▲地上基地局 アンテナ

ともに挑む。ともに実る。

**MIZUHO**

#### ④葛飾区内連続立体交差化

東京都、葛飾区と連携して、押上線の連続立体交差事業を推進しています。この事業が完了すると、沿線にある11カ所の踏切が廃止され、道路・鉄道それぞれの安全性が向上するほか、踏切による交通渋滞が解消します。これまで鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、魅力あるまちづくりが推進されます。



#### (※1) ソーシャルローン原則：

英 Loan Market Association (LMA)、香港に本部を置くアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association (APLMA)、米 Loan Syndications and Trading Association (LSTA) が、2021 年 4 月発行した社会プロジェクトに用途を限定する融資の国際ガイドライン。

#### (※2) R&I による評価レポートをご参照下さい。

(<https://www.r-i.co.jp/rating/esp/sustainabilityfinance/index.html>)

#### (※3) 列車無線とは、運行を管理している運輸指令と乗務員との間の情報伝達のほか、事故・災害発生時等に異常を知らせる信号を発報し、周囲の列車を停止させ、事故の拡大を防ぐ役割をもつ重要な保安設備です。

以上